水戸市立大場小学校　学校だより
令和３年度　第８号　2021.6.24

おおばっこ

あいさつと笑顔がいっぱい大場っ子
未来につなげ　大場の絆

E-mail　510131@sch.ibk.ed.jp　Tel　029-269-2103　Fax 029-269-2159

助かった命を亡くさないために　～津波～

6月15日（火），「地震後に津波が発生」を想定した避難訓練を行いました。
ねらいは，全児童を迅速に所定の場所に避難させ(教職員)，**生命の安全を図るとともに安全に早く避難できる能力を養う**(児童)ことです。
今期の訓練では，地震発生のため，校庭に１次避難しました(前回火災想定時の訓練では，ここで緊張が途切れた児童が多数)。続いて，津波発生が予想されるため，高台の常澄運動場へ２次避難しました(「おさない･かけない･しゃべらない･もどらない」の約束をよく守り，１Km近くの避難路を真剣に歩く)。
１次避難で助かった命を亡くさないために，教職員が責務を果たすことはもちろん，**子供たちの危機意識の高まりや，適切な判断，主体的な行動**が重要になります。
帰校時は，登下校中の緊急事態発生を視野に，登校班で歩きました。
安全見守りにご協力くださった「さわやか大場をつくる会」の皆様に感謝申し上げます。

←高台（二次避難

見守りに感謝↓

「さわやか大場をつくる会」会長さんのお話

登校班ごとに並んで帰校

子供の声

振り返り用紙に書かれた内容の一部を紹介します。

○　くんれんができていても本番ができなかったらだめだから，あわてないでにげられるようにしたい。（２年生）
○　本当に起きたら何をすればいいかが分かったので，パパとママにも教えておきます。（２年生）
○　自分の命が守れるように，自分で考えながら動くことが大切なんだと思った。（災害は）いつ来るか分からないから，訓練のことを思い出して落ち着いて行動する。（４年生）
○　避難の時「お･か･し･も」だけでは自分の身を守れないことが分かった。本当に津波が来たら，みんなと協力して高台に逃げる。(正しい情報や次の指示を）待つことも大切だという　とが分かった。（５年生）
○　地震や津波が起きたとき，どこへ避難すればよいか分かった。災害はいつ起こるか分からないから，放送や先生の話をよく聞いて，自分の身を守れるようにしたい。（５年生）
○　校舎から校庭に避難をしても安心しないで他の場所へ避難することが大切。（６年生）
○　副班長として，下学年の面倒を見て呼んだり，並ばせることができた。本当に地震があったら，他の学年の子や同じ班の子の様子を見ながら，急いで行動したい。（６年生）

今後の主な学校行事の見通し

6月25日	授業参観
7月15日	遠足（３．４年）
7月21日 26～29日	個別面談 ＊オンラインも可
9月2日 9月3日 9月8日 または9日 9月15日	遠足（１．２年） 遠足（6年） 体験学習（４・５年） ＊泊を伴わない 運動会（予備日16日･17日）
10月8日	市陸上記録会

＊あくまでも６月22日現在の予定です。
状況により変更になることもあります。

子供の心に触れた瞬間(とき)

★「おはようございます！」摘んだばかりの紫陽花を差し出し「あげる！」お花のプレゼントなんていつ以来でしょう。「ありがとう！」と「笑顔」のお返しでよかったでしょうか。
★郵便受けに手紙が届きました。時候の挨拶から始まり，教室へのお誘いの文章は大人顔負けです。折り紙や習字の作品も同封され，手の込んだコミュニケーション力に感心するばかりです。
★「どんな気持ちで仕事をしているのですか？」インタビューに訪れた子は「子供が好きだからですか？」と続けます。期待する答えも用意しているなんて，きっと「大人にはこうあって欲しい」という願望があるのですね。「裏切れないなあ」と思います。
★「次世代エキスパート育成事業」に参加する２人の動機は「将来やりたい事に繋がるから」。末が楽しみです。応援しています。